6月定例会における 各常任委員会での主な質疑等

福祉文教常任委員会

◆財産の取得について（学校給食用備品一式）

問 入札の方法について、このたびは一括で発注をしているが、なぜ分割発注をしなかったのか。

答 分割で発注するよりも、一括で発注する方が安価になると考えられ、また、一般競争入札に付すことで、さらに金額的に安くなるため、まとめて発注した。

問 この入札に係る機器の仕様書は誰が作成したのか。職員であるのか。業者であるのか。

答 教育総務課の担当職員が作成している。

問 一括購入により、安価になったとのことであるが、どのくらい安く購入することができたのか。

答 落札率が94・59％ということで、安くないようにみえるが、3社でプロポーザルを行い、見積価格を低くし、その見積価格以下に予定価格を設定したため、安くなっていると見ていただきたい。

経済建設常任委員会

◆新たに生じた土地の確認及び字の区域の変更について

問 この度の公有水面埋立事業によって、集中豪雨等による湾内への浸水対策もしたという認識でよいのか。

答 埋立て箇所については、物揚げ場と言われる海面に近い箇所と、そこから一段高く、将来、加工場とする予定の箇所に分けられる。物揚げ場については、波の動き・大きさにより若干量の水をかぶる想定はしているが、加工場については、浸水対策を考慮した上で設計をしていると認識している。

問 埋立てによって、湾内の水質に大きな影響が出ることはないのか。

答 湾内における水質への影響は否定できないが、ご承知のように、漁は湾外に出て沖合で行うものであり、牡蠣いかだも、波を避けるために湾内に引き入れることはあるものの、通常湾外に置くものであるため、漁獲に影響を及ぼす程度の影響は考えていない。

予算決算特別委員会各分科会での主な質疑

総務生活分科会

◆たつの市一般会計補正予算（第1号）

問 4月の人事異動に伴い、人件費を補正計上したとの説明であるが、人件費の補正については、例年12月定例会で上程していたのではないのか。

答 今回の補正については、当初予算の段階で再任用職員を予定していた科目で嘱託職員を配置したことや嘱託職員を予定していた科目に臨時職員を配置したことなどにより、嘱託職員報酬や臨時職員の賃金のうち、12月までに予算を全額執行する可能性のある緊急を要する科目のみを補正計上したものである。また、他の科目については、正規職員の人事異動に係る人件費とあわせて、例年どおり12月定例会での上程を予定している。

問 マイナンバーカードの交付に伴い、地方公共団体情報システム機構への負担金1861万8千円を補正計上したとの説明であるが、これらの負担金を含め、カード交付に係る事業費の財源はどうなっているのか。

答 マイナンバーカードに関するシステム開発や運用は機構が担っており、これらの経費については各市町が人口割などで算出した負担金を機構に支払うことになるが、本市においては負担金の全額を事業費補助金として、また、カード交付に係る人件費の一部についても、事務費補助金として国から財源補てんされている。

福祉文教分科会

◆たつの市一般会計補正予算（第1号）

問 スクールソーシャルワーカーの配置について、このたび国庫補助金がついたとして、一般財源から特定財源に財源変更をしているが、財源変更をしないと、この事業は実施できないのか。また、今、財源変更をしなければならないのか。

答 必ずしも事業執行前に財源変更をしなければ実施できないというものではなく、このたび、平成28年3月末時点で県補助金が決定となったため、県補助金を受け入れて、市単独費を減額する財源変更を行ったものである。

経済建設分科会

◆平成28年度たつの市下水道事業特別会計補正予算（第1号）

問 下水道整備事業について、この下水道管渠の耐用年数は何年か。

答 50年である。

問 この長寿命化計画の対象幹線及び事業期間の詳細と、その他の幹線について、どのように考えているのか。

答 対象幹線は、沢田・中川原汚水幹線で、期間は、1期5年の2期10年間で計画している。その他の幹線については、今後調査を進め、事業実施等に向けた検討をしていきたい。